福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

年　　月　　日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人　東京都福祉保健財団理事長　殿

〒　273-0048

所在地　千葉県船橋市丸山2丁目10番15号

評価機関名　NPO法人　ヒューマン・ネットワーク

認証評価機関番号　機構　06　―　163

電話番号　047-404-6300

代表者氏名　吉谷　健二　印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号		評価者氏名	担当分野	修了者番号
	①		経営	H0306095
	②		福祉	H2001011
	③		福祉	H2001012
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認定こども園			
評価対象事業所名称	Gakkenこどもえん			
事業所連絡先	〒	141-8420		
	所在地	東京都品川区西五反田２－１１－８　学研ビルMB階		
	TEL	03-6431-1300		
事業所代表者氏名	園長　近藤　光江			
契約日	2022 年　6 月　1 日			
利用者調査票配付日（実施日）	2022 年　9 月　1 日			
利用者調査結果報告日	2022 年　10 月　12 日			
自己評価の調査票配付日	2022 年　7 月　13 日			
自己評価結果報告日	2022 年　10 月　12 日			
訪問調査日	2022 年　10 月　19 日			
評価合議日	2022 年　10 月　20 日			
コメント（利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入）	事業者の理念・目標がどのように実践されているのか、組織運営の専門家と福祉現場を熟知した専門家が実践のプロセスを丁寧に確認し、公平・公正に評価した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、
- ◉ 機構が定める部分を公表することに同意します。
- ○ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- ○ 別添の理由書により、公表には同意しません。

年　　月　　日

事業者代表者氏名 代表取締役　山崎　知恵　印

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：認定こども園〕　令和4年度

《事業所名：Gakkenこどもえん》

1	**理念・方針 （関連　カテゴリー1　リーダーシップと意思決定）**
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、 特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連　カテゴリー1　リーダーシップと意思決定）
	【企業理念】 すべての人が心ゆたかに生きることを願い 今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します 【保育方針】 子どもの養護と教育を両輪とした、子ども主体の心と体の育ちの支援 子ども一人ひとりの認知・発達に応じた、個別の発達支援 地域社会のすべての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援 【保育目標】 基本的生活習慣が確立した子 心も体も自立した子 自律した行動がとれる子 他人に対する思いやりと寛容な気持ちを抱き、援助ができる子 【保育に対する考え方】 Gakkenほいくえんは、すべての子どもが生まれながらに持っている 「育ちのチカラ」を輝かせる保育を行っています。
2	**期待する職員像 （関連　カテゴリー5　職員と組織の能力向上）**
	（1）職員に求めている人材像や役割
	【学研グループが期待する人材】 コミュニケーション能力の高い人材 成功・達成させる信念を持っている人材 責任感のある人材 【園が求めている人材】 常に明るく前向きな人財。 子どもの声を聴き、目に見えない気持ちをくみ取れる人財。
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	①丁寧な保育。（一人一人の気持ちを満たす丁寧な関わり。） ②遊びは学び、学びは遊びを通し総合的な関わり。（興味関心を大事にしながら学びに向かう力を育てる。） ③チームで子どもの事を語り合う、保育での喜びや悩みを共有し、子どものより良い成長に向かい思いを一つに出来る。

《事業所名: Gakkenこどもえん》

調査対象	全園児の保護者を調査対象とした。（兄弟・姉妹で利用している場合は一世帯一人として回答をお願いした）
調査方法	園より保護者に挨拶文とアンケートを配布して頂き、アンケートは匿名で直接評価機関に郵送して頂いた。

利用者総数	56
利用者家族総数（世帯）	49
共通評価項目による調査対象者数	49
共通評価項目による調査の有効回答者数	33
利用者家族総数に対する回答者割合（%）	67.3

利用者調査全体のコメント

総合満足の回答は「大変満足」39%「満足」52%で満足以上の回答計が91%と大変高い評価であった。
90%以上の肯定的な「はい」回答項目は「園での活動が心身の発達に役立っているか」「活動は興味や関心を持てる内容か」「食事は配慮されているか」「時間変更は柔軟に対応してくれるか」「職員の言葉づかいは丁寧か」「職員は子どもの気持ちを大切にしてくれるか」等6項目33%であった。80%台の項目は「運動や休憩は子どもの発達の状態等に応じて工夫されているか」「行事日程は配慮があるか」「園内は清潔か」「怪我など職員の対応は信頼できるか」等4項目22%であった。70%台の項目は「戸外遊びは十分確保されているか」「安全対策は十分か」「子ども同士のいさかいの対応は適切か」「プライバシーは守ってくれるか」「不満・要望はきちんと対応してくれるか」等5項目28%であった。60%台の項目は「職員と相談することが出来る信頼関係があるか」「保育内容の説明は分かり易いか」等2項目28%であった。50%以下の項目は「第三者委員に相談出来る事を説明してくれたか」であった。
70%以上「はい」回答項目が全項目の83%にあたり高い評価であった。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 運動や休息の配分は、子どもの発達の状態や在園時間に応じて工夫されているか	28	4	1	0
「はい」回答が85%「どちらともいえない」回答が12%「いいえ」回答が3%で高い評価であった。代表的な自由発言は「毎日帰宅後、心地よい疲れを感じているらしく、スムーズに入眠してくれる」等であった。				
2. 園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか	31	2	0	0
「はい」回答が94%「どちらともいえない」回答が6%で大変高い評価であった。代表的な自由発言は「友達の行動を見てマネをすることで、出来る事が増えている」「入園してから、めざましく言葉が発達した」「家では出来ない運動や制作あそびをしてくれており、つの間にか出来ることが増えている」等であった。				
3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	31	2	0	0
「はい」回答が94%「どちらともいえない」回答が6%で大変高い評価であった。代表的な自由発言は「食育やハロウィンなど、子供が好きな行事、イベントが年々充実してきている」「自分では、やりにくい絵具遊びや粘土遊びを行ってくれ、経験が広がっている様に思う」等であった。				

4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	32	1	0	0
「はい」回答が97%「どちらともいえない」回答が3%で極めて高い評価であった。代表的な自由発言は「子どもがとても気に入ったメニューがあり、レシピを給食だよりに載せてくれたので、家でも作ってみた」「毎日完食してくるので、本人に合っていると思う、食器の使いもとても上手になった」等であった。				
5. 園の生活の中で、身近な自然や社会と十分関わっているか	23	7	3	0
「はい」回答が70%「どちらともいえない」回答が21%「いいえ」回答が9%であった。一部の意見ではあるが「コロナ禍で仕方ないが、通常時を知らないので判断が難しいが、もっと自然と関われるといいと思う」「都心なので仕方ないと思う」等が寄せられた。				
6. 保育時間の変更が急きょ必要になった場合、開園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思うか	32	0	0	1
「はい」回答が97%と極めて高い評価であった。代表的な自由発言は「大変お世話になっている」等であった。				
7. 安全対策が十分取られていると思うか	23	8	0	2
「はい」回答が70%「どちらともいえない」回答が24%であった。				
8. 園の活動に保護者が参加しやすいよう、工夫されているか	29	3	0	1
「はい」回答が88%「どちらともいえない」回答が9%で高い評価であった。代表的な自由発言は「保護者会は休日に、行事はオンラインで参加でき、有難い」等であった。				
9. 子どもの教育・保育について家庭と園に信頼関係があるか	21	10	2	0
「はい」回答が64%「どちらともいえない」回答が30%「いいえ」回答が6%であった。一部の意見として「コロナ禍で会話の機会が減った、アプリ、出入口変更、連絡帳等、また、先生によって差がある」というものがあった。				
10. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	28	4	0	1
「はい」回答が85%「どちらともいえない」回答が12%で高い評価であった。				

11. 職員の接遇・態度は適切か	31	2	0	0
「はい」回答が94%「どちらともいえない」回答が6%で大変高い評価であった。代表的な自由発言は「担任の先生は、丁重に接してくれている」であった。				
12. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	27	6	0	0
「はい」回答が82%「どちらともいえない」回答が18%で高い評価であった。代表的な自由発言は「検温したり、看護師とも共働している様子が伺える」「発熱時や軽いケガのときも、迅速に適切に対応いただいた」等であった。				
13. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	19	8	0	6
経験がないと回答された方を除くと、「はい」回答が70%「どちらともいえない」回答が30%であった。				
14. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	31	2	0	0
「はい」回答が94%「どちらともいえない」回答が6%で大変高い評価であった。代表的な自由発言は「子どもたちの好きなキャラクターのスタンプを取りいれてくれていて、とても喜んでいる」「子どもが担任の先生が大好きなので、配慮してくれているのだろうと思い、感謝している」「子どもの興味関心を一番大事に考えてくれている」等であった。				
15. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	26	3	1	3
「はい」回答が79%「どちらともいえない」回答が9%「いいえ」回答が3%であった。				
16. 教育・保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	20	12	1	0
「はい」回答が61%「どちらともいえない」回答が36%「いいえ」回答が3%であった。一部の意見として「コミュニケーションが少ないので分かりません」というものがあった。				
17. 利用者の不満や要望は対応されているか	26	1	2	4
「はい」回答が79%「どちらともいえない」回答が3%「いいえ」回答が6%で高い評価であった。代表的な自由発言は「園全体でカバーしてくれるので安心できる」等であった。				

18. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	9	5	3	16
「はい」回答が27%「どちらともいえない」回答が15%「いいえ」回答が9%であった。一部の意見として「そのような機会がなかった」であった。				

Ⅰ 組織マネジメント項目（カテゴリー1～5、7）

No.	共通評価項目
1	カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1（1-1）

事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　7／7

評価項目1
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○非該当

評価項目2
経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている　評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○非該当
◉あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○非該当

評価項目3
重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している　評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○非該当
◉あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○非該当
◉あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○非該当

カテゴリー1の講評

遊びから学び「やってみたい」を大切に「育ちのチカラ」を育んでいる

保育理念・方針・目標を「Gakkenこどもえん生活の手引き」に掲載し、こどもが本来持っている「育ちのチカラ」を伸ばす、遊びは学び、学びは遊び「やってみたい」を大切に、主体性、意欲、興味・関心を育む保育に取り組んでいる。職員は各会議や日々の語り合いの中で「今、目の前の子どもの興味・関心は何か」「ワクワク・ドキドキする仕掛けの工夫」「子どもの意見中心の行事の見直し」等話し合い、また、個別面談の中で理解を深め実践に努めている。保護者とは入園面談時やクラス懇談会、日々の情報共有システム等を通じて共有している。

重点目標を明示し日々の保育の中で話し合い実践に努めている

園長の役割は職務分担表とガイドラインに明記されている。今年度の重要目標は①子どもの主体的な遊び、多様な知的探求心を育む遊びを大切にする。「やってみたい」気持ちを見逃さず納得いくまで遊びこめるように見守る保育を行う。②職員同士が子どものより良い成長のために振り返り、語り合う時間を設け主体的に行動し成長する。③保護者とコミュニケーションを良く取り子どもの成長を共有する。以上3つの目標を達成するために日々の保育の中で、週会議、各会議、個別面談等の機会に話し合い理解を深め、実践に努めている。

園内の様々な検討課題は各会議の目的に沿って話し合い決定している

法人の最重要な方針等は経営幹部で決定され全職員に周知される。園内の様々な検討課題は、週会議、リーダー会議、乳児会議、幼児会議、給食会議等で、各会議の目的に沿って課題を話し合い、園長の責任の基に決定し実行される。保護者には園内掲示、園だより、共有システムのメール配信等で連絡している。重要な変更に関しては重要事項説明書を改定・配布し、また、同意書を得ている。

	カテゴリー2
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1（2-1）

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6／6

評価項目1
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
◉あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
◉あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当

サブカテゴリー2（2-2）

実践的な計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5

評価項目1
事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
◉あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当

評価項目2
着実な計画の実行に取り組んでいる

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
◉あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

存在価値を高め「選ばれる園」になることを戦略的目標として課題を検討している

園を取り巻く環境は厳しさが増す状況の中で、保育理念・方針・目標を高いレベルで達成し存在価値を高め「選ばれる園」になることが戦略的な目標である。具体的なニーズの把握としては、保護者ニーズは日々の会話の中で意向・要望を聞き、行事等開催後にアンケートで確認し、また、運営委員会で各クラスの保護者から意見や要望を把握している。職員のニーズは日頃のコミュニケーションや個別の期待役割面接で把握している。地域ニーズは区の園長会や福祉協議会に参加し把握している。ニーズと課題に基づいて年間計画を設定している。

中期計画のもとに事業計画を立て目標が明確である

理念・ビジョンを基に中期計画を作成し今年度事業計画を作成している。今年度計画として①子どもの主体的な遊び、多様な知的探求心の遊びは学び、学びは遊びの保育根幹を大切にする。②子どもたちが自ら選べる環境をつくる、納得いくまで遊びこめるよう見守る。③職員同士がお子さんのより良い成長の為に振り返りや語り合いができる時間を設けていく。④職員同士が連携し相手の思いをくみ取れる関係性を大切にする。⑤事業計画・全体的な計画・年間指導計画・保健・食育計画の連動性を高める等である。

進度は各会議で確認しているが、日々の保育のPDCAをさらに期待したい

計画の進度は各会議、週会議、リーダー会議、乳・幼児会議、給食会議等で確認している。保育の進捗としては月末に月案に反省を記載し、年間計画は年に4回反省を記載し確認している。特に食育計画、保健計画では子ども達のやりたい気持ちと職員のやりたいことが形となって実現出来ている。理念や目標を達成するために日々の保育の振り返りや改善を明確にして実行するサイクルを現場で確実に回すことが課題と認識しているので期待したい。職員個人別育成の計画は年2回期待役割面接シートを用いて面談を行い必要であれば都度行っている。

	カテゴリー3
3	経営における社会的責任

サブカテゴリー1（3-1）

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2／2

評価項目1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリー2（3-2）

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4／4

評価項目1
利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
◉あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目2
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
◉あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー3（3-3）

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5

評価項目1
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

評点（○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
◉あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点（○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
◉あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	○非該当
◉あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

	カテゴリー3の講評
	運営ガイドラインに守るべき規範を明示し研修で繰り返し確認している 運営ガイドラインに守るべき法・倫理・規範が規定してある。内容は保育理念・方針・目標、倫理綱領、服務規程（基本ルールや言葉づかいなど保育者の心得）、施設長の責務と業務、子どもの人権（保育所保育指針、憲法、児童福祉法、児童憲章、子どもの権利に関する条約など）、保育の手引き、虐待防止、個人情報保護方針等20項目である。ガイドラインを新人研修、フォローアップ研修にて周知し、園内では会議等で読み合わせている。法・倫理の遵守はコンプライアンスコードが配布され、e-ラーニングを受講して徹底している。 様々な方法で意向・要望を聞きサービス向上に努めている 苦情解決制度は入園時に重要事項説明書をもとに説明し、フローチャートで玄関に掲示し、意見箱を設置している。また、行事等後のアンケートや給食アンケート、運営委員会等で意見・要望を把握し、また、日々の会話や情報共有システム、個人面談等で意見・要望を聞き、速やかに対応し報告している。虐待防止は園内研修を実施し、人権擁護セルフチェックを実施、また、日々クラス巡回を行い確認している。また、虐待早期発見のポイントで把握し発見した場合は本社・行政関係機関と連携を図る体制がある。 ホームページに基本情報や第三者評価報告書を掲載し運営の透明化を図っている ホームページに園の保育理念や方針、基本情報、第三者評価報告書を掲載し運営の透明化を図っている。ボランテイア等の受け入れはコロナ禍ではあるが感染防止策を徹底し受け入れ、専門学校生の実習やボランティア、系列の養成校の学生実習を受け入れている。地域貢献は感染防止対策を図りながら、月に1度の子育て支援を開始し、今後、感染状況を見ながら回数と参加人数を増やす予定である。また、区の園長会に参加し、地域の改善課題などに積極的に取り組み、昨年度は近隣の公園のヒヤリ・ハットマップを作成し会議で共有をしている。

	カテゴリー4
4	リスクマネジメント

サブカテゴリー1（4-1）

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　5／5

評価項目1
事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点（○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
◉あり　○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
◉あり　○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
◉あり　○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
◉あり　○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリー2（4-2）

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている　　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4／4

評価項目1
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
◉あり　○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
◉あり　○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
◉あり　○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当

カテゴリー4の講評

新型コロナウイルス対策のガイドラインに従って感染防止を徹底している

新型コロナウイルス対策のガイドラインに従って、①マスク着用　②手洗い　③身体的距離の確保　④出勤時の体温の計測と健康チェック表の記載　⑤発熱などの症状、腹痛、下痢などが見られる場合は原則受け入れをしない　⑥園内の消毒等で徹底している。感染者が発生した場合や濃厚接触者が生じた場合も「発生時対応ガイドライン」に従って迅速に対応している。

週会議にて事故防止対策を話し合い、園内の整理・整頓に努めている

事故防止対策として、事故報告、ヒヤリ・ハット報告書で週会議で話し合い再発防止策を共有している。事故防止マニュアルは事務所に置き誰でもすぐに確認できるようファイリングしてある。また、環境整備に力を入れ、置物整理など園内の整理・整頓に努め、危険個所のチェックを定期的に行いケガ等の防止に努めている。また、最近のニュースになった事例を基に人数確認の徹底をしている。災害対策として避難確保計画、非常災害対策計画を作成し、毎月避難訓練を行っている。大災害時に備えて法人として事業継承計画（BCP計画）を策定している。

運営ガイドラインに沿って、情報の収集、利用、保管、破棄等を徹底している

情報管理は運営ガイドラインに沿って、情報の収集、利用、保管、破棄等を行っている。園児用ファイルや運営に必要な書類を整理しファイルを作成し、必要な時に活用できるように鍵の場所、保管方法を把握している。パソコンは情報漏洩の無いように、園長のみが使えるパソコンとスタッフが使えるパソコンを区別している。メールでの資料添付は廃止し資料はクラウドに保管し見られるようにしている。職員は入社時に「個人情報の取り扱いに関する誓約書」にサインして守秘義務を徹底し、ボランテイア・実習生も同様に徹底している。

	カテゴリー5
5	職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1（5-1）

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　12／12

評価項目1
事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	〇非該当

評価項目2
事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	〇非該当

評価項目3
事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点（〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	〇非該当
◉あり　〇なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	〇非該当

評価項目4
職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点（〇〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	〇非該当
◉あり　〇なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	〇非該当

サブカテゴリー2（5-2）

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　3／3

評価項目1
組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　〇なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	〇非該当
◉あり　〇なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	〇非該当
◉あり　〇なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	〇非該当

	カテゴリー5の講評
	新人は年3回の研修とサポーターのOJT育成で丁寧に育成している 人材の確保は本社で大学や保育士養成学校との信頼関係を築き採用し、各園に配属が決まる。新人は入社前研修を受け、企業理念、保育理念・方針・目標など運営法人の大切にしている考えを学び、その後年間で3回の新入社員研修及び専門性を高めるためのフォローアップ研修・給食従事者研修を受け育成をしている。園全体でそだてつつ先輩職員がサポーターになり、話しやすい・相談しやすい環境のもとで個別育成を図っている。サポーターには新人サポーター研修があり、役割やサポーター同士の学び合いがあり新人と共に成長している。 職員がやりたい保育を主体的に取り組むことを大切にして育成している 職員は期待役割面接シート（全般）と自己評価チェックシートで自己評価し期待役割面談を通じて役割や目標を確認し個人別育成計画を設定している。キャリアパス体系は一般から上級まで職務・役割、能力・教育等の期待役割項目等が整理され、研修は本社にて階層別研修、専門研修等があり、また、外部研修などに積極的に参加し職員が主体的に学ぶ力を培っている。現場育成は園長・リーダーが日々話しかけ職員がやりたい保育を主体的に取り組むことを大切にし週会議等で情報共有し育成しているが、さらにOJT育成体制の再構築を期待したい。 働きやすい職場づくりに力を入れている 仕事と家庭の両立できるように、休暇の取得や育児休暇の延長、介護休暇など取得しやすい様に配慮し、また、現場でもお互いさまで助け合う気持ちを大切にしている。個人面談は年2回行い、必要であれば都度話を聞いたり相談に乗り、悩みを抱え込まずに話ができる様にしている。チームワークを大切に感謝の気持ちを声に出しあえるようにしている。また、役割分担や行事の担当を決め、頑張ったことを言葉にして認め、子どもの成長や保護者の感謝の言葉などを添えて保育の遣り甲斐をにつながる様にしている。

	カテゴリー7
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1（7-1）
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

（事業計画）
保育理念・方針・目標を高いレベルで達成し存在価値を高め「選ばれる園」になることを戦略的な目標として、中期計画を作成し今年度事業計画を作成している。今年度計画として①子どもの主体的な遊び、多様な知的探求心の遊びは学び、学びは遊びの保育根幹を大切にする。②子どもたちが自ら選べる環境をつくる、納得いくまで遊びこめるよう見守る。③職員同士がお子さんのより良い成長の為に振り返りや語り合いができいる時間を設けていく。④職員同士が連携し相手の思いをくみ取れる関係性を大切にする。⑤事業計画・全体的な計画・年間指導計画・保健・食育計画の連動性を高める等である。計画の進度は各会議、週会議、リーダー会議、乳・幼児会議、給食会議等で確認している。保育の進捗としては月末に月案に反省を記載し、年間計画は年に4回反省を記載し確認している。

目標の設定と取り組み	◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

中期計画が分かりやすくなり、事業計画も園の今年度の目標と取り組みが明確になった。事業計画の進度は毎月月間指導計画、週指導計画の評価・反省をして確認している。食育計画、保健計画では子ども達のやりたい気持ちと職員のやりたいことが形となって実現出来ているが、「主体性を育む」保育目標に関して、従来型の域を脱皮しきれていない点が見受けられる。保育目標を達成するために日々の保育の振り返りや改善を明確にして実行するサイクルを現場で確実に回すことが課題と思われるので改善を期待したい。

評価項目2
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

（職員の育成）
職員は期待役割面接シート（全般）と自己評価チェックシートで自己評価し期待役割面談を通じて役割や目標を確認し個人別育成計画を設定している。キャリアパス体系は一般から上級まで職務・役割、能力・教育等の期待役割項目等が整理され、研修は本社にて階層別研修、専門研修等があり、また、外部研修などに積極的に参加し職員が主体的に学ぶ力を培っている。現場育成は園長・リーダーが日々話しかけ職員がやりたい保育を主体的に取り組むことを大切にし週会議等で情報共有し育成している。また、働きやすい職場づくりとして、仕事と家庭の両立できるように、休暇の取得や育児休暇の延長、介護休暇など取得しやすい様に配慮し、また、現場でもお互いさまで助け合う気持ちを大切にしている。個人面談は年2回行い、必要であれば都度話を聞いたり相談に乗り、悩みを抱え込まずに話ができる様にしている。チームワークを大切に感謝の気持ちを声に出しあえるようにしている。また、役割分担や行事の担当を決め、頑張ったことを言葉にして認め、子どもの成長や保護者の感謝の言葉などを添えて保育の遣り甲斐をにつながる様にしている。

目標の設定と取り組み	◉ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	◉ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていなかった場合も含む） ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	◉ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目２で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

期待役割面接シートと自己評価チェックシートは全般に亘って保育を振り返る内容で目標を設定するが抽象的な目標になりがちと思われる。また、面談も個別の悩みや困りごとが無いか、希望は無いか等長く働き続け易いように配慮した内容が多いと思われる。主体性を育む保育目標を高いレベルで達成するために、園の目標、各クラスの目標を年間、月間、週・日案に連動して、話し合い、日々評価して、確実にPDCAを回すことが重要と思われる。職員一人ひとりのキャリアアッププランをみすえて、各クラス毎、職員個人、園全体で成長できたことを皆で確認するとさらに良いでしょう。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目
1	サブカテゴリー1 サービス情報の提供　サブカテゴリー毎の標準項目実施状況　4／4

評価項目1
利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
評点（○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当

サブカテゴリー1の講評

ホームページや区の保育園案内に園の情報をわかりやすく提供している

ホームページに保育理念、保育目標、運営法人が目指している「育ちのチカラ」を伸ばす、遊びは学び、学びは遊び「やってみたい」を大切にする保育の取り組みが分かりやすく伝わるようコメントと写真入りで紹介している。また、施設の概要、園生活の一日の流れ、年間行事計画、家庭へのサポート、安心安全への取り組み、地域社会との繋がりについて掲載している。「よくある質問コーナー」は保護者の不安や疑問に答える形式となっており園生活への理解に繋がるものとなっている。

見学者に園の方針、目標、保育の取り組みを丁寧に説明し園生活の理解に繋げている

見学はゆっくり案内できるよう一組ずつ受け入れ、園で過ごす子どもの様子を見て頂けるよう平日の午前中の見学を薦めている。園長は職員を紹介し園内を見学しながら、遊びは学び、学びは遊び「やってみたい」を大切に子どもの主体性を育む保育への取り組みについて丁寧に説明している。子どもが自由に遊びを選び楽しめる環境の工夫や、子どもが遊ぶ様子、保育士の関わりの場面を実際に見学して頂き、園が取り組んでいる教育・保育への理解に繋げている。食事場面の見学や個別相談にも対応している。見学後は入園に繋がるケースが多い。

園の情報を行政や関係機関に提供し専門性の地域還元に努めている

園の運営状況や入園の空き状況、次月の入園可能人数を定期的に行政に情報提供しており、利用希望者は法人独自のホームページと区のホームページからも確認することができる。保健所や児童相談所とも連携体制を整えており必要に応じて情報交換し、悩みを抱える子育て家庭へのサポートや育児放棄、虐待の早期発見、解決など、地域ニーズを捉えた支援に努めている。

2	サブカテゴリー2		
	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6

評価項目1
サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目2
サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの指導・援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー2の講評

保護者との情報共有に努め、安心して園生活が開始できるよう努めている

入園前に個別面談をおこない重要事項説明書を基に理念、方針、目標、提供する教育・保育の内容、一日の流れ、年間行事計画、持ち物、給食、健康、防災、苦情・要望についてや基本的ルール等を説明している。保護者からの質問には納得して頂けるよう丁寧な説明に努め、説明内容については書面にて同意を得ている。また生活の基礎となる食事、睡眠、排せつ、言葉、遊び、アレルギーの有無等保護者の意向を聞き取り個人面談記録に記録している。個人面談を通して園と保護者が情報共有し安心して園生活が開始できるよう努めている。

入園当初の子どもと保護者の気持ちに寄り添い個別対応に配慮している

保護者の就労状況や子どもの状態に合わせて概ね10日前後を目安に慣らし保育をおこなっている。新しい環境の中で不安を抱える子どもの心情を捉え、抱っこやおんぶ、スキンシップ、傍らで見守る、声をかける、好きな玩具を用意する等、一人ひとりの子どもの要求に応じることができるよう、職員間の協力体制を整え担任と子どもの信頼関係の構築に努めている。保護者においても生活の変化による不安やストレスが生じていることを受け止め、職員は積極的に声をかけ子どもの微笑ましい姿を伝え安心感に繋がるよう丁寧な保護者対応に努めている。

退園や卒園後も子どもや保護者と継続した関係性を保ち支援に努めている

退園や卒園の際にはお別れ会を開催し職員手作りのメッセージカードや成長の様子が伝わる作品集、友達からの手作りプレゼント等を贈り園生活の思い出作りに努めている。また退園、卒園後も夏祭りに誘ったり、いつでも来園しやすい雰囲気作りを心がけている。卒園後はランドセル姿を見せに園に立ち寄る子どももおり、元気な姿を職員みんなで温かく受け入れ声をかけたり関わりを持つことは卒園後の子どもや保護者にとりほっとできる場になっている。保護者からは「機会があればまた園を利用したい」という声が聞かれている。

サブカテゴリー3

3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13／13

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2
全体的な計画（教育課程を含む）や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点（○○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画（教育課程を含む）を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの様子や子どもを取り巻く状況に即して、指導の過程についての反省や評価を行い、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な指導・援助内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、指導・援助を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが指導事例を持ち寄り、話し合う場を設けることで職員の専門性を高め、一人ひとりの幼児理解を共有化している	○非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身や生活状況、成長の推移、保護者の意向を記録化し指導計画に反映している

子どもの心身及び生活状況、保護者の意向は入園前面談や保護者との日々の会話及び連絡帳、定期的な面談で把握、確認し個人面談記録用紙に記録している。子どもの成長の推移は経過記録に定期的に記録し子どもの発達状況を踏まえ指導計画に反映している。子どもの発達や心情面、保護者の状況は週会議で共有し周知を図り、日々の保育や保護者対応の配慮に繋げている。

保護者にブログやクラスだより、行事を通して保育を伝え保育内容の理解に繋げている

日々の保育はブログで子どもの様子を中心に写真やエピソードで毎日更新して知らせている。毎月配信するクラスだよりは月のねらい、子どもたちが興味を持っている遊びや歌、手遊び、お勧めの絵本を情報提供している。アプリ配信はいつでも閲覧でき、子どもと話題を共有し楽しいひとときに繋がると保護者からの声もある。夏祭り、運動会、懇談会では保育の経過や子どもの姿、その中での育ちを伝え、園が取り組む子どもの主体性を育む「遊びは学び、学びは遊び」に繋がる日々の保育の理解に繋げている。

日々の保育の振り返りの具体化と課題を明確化した保育日誌の記録が望まれる

子どもが興味や関心を持ち自ら遊びを選択し遊び込める環境や関わりについて週会議を中心に話し合い、現状や改善点を共有し園が目指す保育の実践に努めている。日々の保育は週日案に記録し自己評価をおこなっている。日誌は保育内容や子どもの様子について誰が読んでも分かるような記録を心がけているが、子どもの姿や結果に留まる傾向がある。子どもの姿を観察しどのように興味、関心を持ち遊びを発展させているか、エピソード等から環境設定や関わりを振り返り課題や改善点を翌日の保育に繋げる記録に期待したい。

5	サブカテゴリー5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
子どものプライバシー保護を徹底している

評点（〇〇）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した指導・援助を行っている	○非該当

評価項目2
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の教育・保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した指導・援助を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当

サブカテゴリー5の講評

写真の取り扱いや情報発信の仕方、書類の取り扱い等個人情報保護を徹底している

入園時には園での個人情報の取り扱いについて保護者に説明をおこない、同意書を頂いて慎重に取り扱っている。特に子どもの日常の様子をブログにアップし保護者と子どもの育ちの共有を図る取り組みをおこなっている為、保護者にも情報の取り扱いに協力を求め、子どものプライバシーを尊重できるよう努めている。学研の情報誌に子どもたちの活動を掲載する場合は個々の保護者に確認を取っている。

一人ひとりの子どもの権利を尊重する保育を職員間で学び合い実践に努めている

一人ひとりの子どもの思いや興味・関心を尊重し子どもがやってみたいことを実現できる保育を目指して環境づくりに取り組んでいる。今年度は保育室内のコーナー環境の充実を図り、好きなコーナーで納得できるまで遊び込めるようにした。行事も子どもたちの普段の遊びの中で培われた力を発揮できるような内容とし、子どものが「楽しい！」と意欲をもって主体的に取り組めるように進めている。職員アンケートでも「子どもの権利を守り、意思を尊重している」の項目に対して「できている」と100％回答があり意識を高くもち望んでいることが伺える。

日常の関わりや活動において子どものプライバシー保護に努めている

子どものオムツ交換の際は人目のつかない場所で保育者が一人ひとりの子どもと関わりながらおこなっている。子どもの着替えや排せつ時はロールカーテンを下し、水遊びやプール遊びの際はテントを張ってプライバシーの保護に努めている。また、水遊び時の着替えは男女別におこなっている。職員は運営ガイドラインや「子どもの人権」について研修をおこない保育者の姿勢や環境づくりを学んでいる。

6	サブカテゴリー6		
	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5

評価項目1
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
●あり　○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり　○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり　○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
●あり　○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり　○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

運営ガイドラインを整備し実践に繋がる研修を定期的におこなっている

運営ガイドラインは企業理念、保育方針、服務、施設長の責務や業務、職員の資質向上、子どもの人権・虐待、保育の手引き、感染症、事故・怪我の対応、危機管理、苦情対応、子育て支援、個人情報保護等、20の項目の内容を明記し作成されている。法や倫理の順守はeラーニングで受講し自己評価を実施している。今年度園内では「子どもの人権と不適切なかかわり」について園長が講師となり職員で話し合い実践に繋げている。

安全対策委員会を設置し、本部と連携し子どもの安全対策に取り組んでいる

安全対策委員会を設置し、本社本部と各エリアの保育園が連携を図り、子どもの安全を守り事故防止に向けた取り組みをおこなっている。今年度は安全対策推進委員を各園の職員から選出し、安全向上計画を作成して年の前期、後期で反省をおこない職員で共有を図り、事故防止に向けている。また、本部の安全対策委員会では近年全国で発生した重大事故や各園で発生した怪我、事故の報告から注意すべき事項をまとめた「安全だより」を発行し、全園で情報の共有を図りながら、子どもの安全対策に取り組んでいる。

Ⅲ サービスの実施項目（カテゴリー6-4）

サブカテゴリー4		
サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35／35

1 評価項目1
子ども一人ひとりの発達の状態に応じた指導・援助を行っている

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで指導・援助している	○非該当
◉あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
◉あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
◉あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の教育・保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう指導・援助している	○非該当
◉あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
◉あり ○なし	6. 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、指導・援助している	○非該当

評価項目1の講評

子どもがワクワク・ドキドキする環境設定と関わりにより主体性を育んでいる

保育士は子どもの傍らで子どもを観察、見守る中で興味、関心や思いを受け止め、子どもが「やってみたい！楽しそう」とワクワク・ドキドキする環境づくりに努めている。立案している指導計画は子どもの遊びの様子から柔軟的に変更し、遊びの継続と発展に繋げている。保育士は活動の区切りで遊びを切り上げるのではなく、子どもが続けたい遊びを満足して遊び込む姿を大切に考え見守りと言葉かけに努めている。子どもが遊びを選択できる環境と思いを受け止めた関わりの中で主体性を育んでいる。

子どもの自己肯定感や思いやりの心が育つ保育に努めている

職員は否定的な言葉は使わず、「できたね・よかったね・これがしたかったんだね」と子どものできたことを認め、褒め共感する言葉かけを大切にしている。異年齢での触れ合いを通して年上児は年下児にやさしく声をかけ手助けしたり、年下児は年上児に信頼感を抱くなどお互いの存在を認め合う心が育っている。子ども同士のトラブルはお互いの気持ちに気づき解決に向かう方向性を見守っている。職員は子どもの思いに心を寄せていくことを共有し子どもの自己肯定感や思いやりの心の育ちに繋げている。

小学校への円滑な接続に向けた取り組みに努めている

コロナ前に実施していた学校見学や1、2年生との交流、給食体験、近隣保育園の年長児同士の交流は現在実施できていない。コロナ禍でもできることはないか模索しながら接続に向けた取り組みに努めている。小学校の校門までを散歩コースに入れ危険な所を確認しながら通学路を歩く体験をしている。日々の教育・保育では主体性、興味、関心、意欲を大切にすると共に、見通しを立てて生活や遊びが進められるよう、一日の流れを文字や時間で示し子どもが自分で考え行動することを大切にしている。

2 評価項目2
子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した教育・保育を行っている

評点（○○○○）

評価	標準項目	
◉あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◉あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう指導・援助している	○非該当
◉あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◉あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

保護者と子どもの姿を共有し連携して基本的生活習慣の自立を進めている

「基本的生活習慣が確立した子」を保育目標のひとつに掲げ、子どもの意欲や心情を大切にしゆったりした雰囲気づくりに心がけ、一人ひとりの発達に合わせた援助に努めている。子どもの「自分でやってみる」という意欲的な姿を受け止め見守りさりげなく手伝ったり、自分でできた時の喜びを共感しあうことを大切にしている。園での子どもの姿を保護者に丁寧に伝え、また家庭の方針や意向を受け止め園と保護者が協力、連携して子どもの生活の連続性に配慮し基本的生活習慣の自立に向かうよう努めている。

登園時、子どもの心身の状況を職員間で共有し子どもが心地よく過ごせるようにしている

3歳未満児は睡眠、食事、健康面などを保護者に入力していただくアプリを活用している。職員は出勤後速やかにアプリに入力された内容を確認し、園と家庭が連動したリズムで生活できるよう配慮している。登園時、担当職員は保護者からの口頭による引継ぎ内容や視診、触診による健康状態の把握及び確認した内容を申し送り表に記載し、担任保育士に書面と口頭で引継ぎをおこなっている。担任保育士は必要に応じて看護師と連携して日中の保育の配慮に繋げ子どもが一日を心地よく過ごせるよう努めている。

日々の保育内容や一日の子どもの様子を伝える工夫があるとさらに良いと考える

一日の様子はブログに掲載する他、降園時にその日の出来事や子どもが特に楽しく遊んでいた様子を担当者から伝えている。伝達内容によっては担任保育士が直接伝えるよう心がけている。保護者は職員への信頼感は高く感謝の声が多い一方、「子どもの様子を簡潔にでも知りたい、室内の様子が見える工夫がほしい」などの声もある。送迎場所の変更で室内の様子が見えにくい環境や担任保育士との会話が少ない中、保育や子どもの様子が伝わり切れていない場合もあることを考え、工夫があればさらに良いと考える。

3 評価項目3

日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点（○○○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう指導・援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもの自主性、自発性を尊重して遊びこめる環境づくりと関わりに努めている

0、1歳児は安全性と感触が楽しめる手作り玩具と既成の玩具、2歳児はままごとや人形を使ってのみたて遊びなど子どもの興味、関心、発達に応じた遊具を準備し自由に取り出して遊べる環境を整えている。3歳以上児はコーナー遊びの環境づくりを工夫し、遊びの内容に応じて可動式棚を移動して室内の広さに変化をつけたり、パーテーションで仕切ったり、フリースペースを活用する等して子どもがやりたい遊びに集中できるよう工夫している。保育士は子どもが自らやってみようとする力の育みに繋がる保育に努めている。

戸外、園外活動の中で自然に触れ好奇心や豊かな感性を育んでいる

積極的に散歩を取り入れている。公園では身体を動かすことで体力の向上を図ると共に、四季折々の自然の中で花、落ち葉、木の実や、昆虫に触れ見たり感じたことを言葉や仕草で表現し保育士や友達とのやり取りを楽しんでいる。また疑問に思ったことは図鑑で調べ好奇心や探求心を育んでいる。室内の飼育コーナーにはどじょうとサワガニを飼育し世話をしている。サワガニの死を体験し命の大切さを学ぶ機会となった。近隣不動尊でのさつまいもの苗植え、収穫体験、商店街での買い物体験など様々な体験や地域の方との触れ合いは豊かな感性を育んでいる。

表現の楽しみに繋がるよう絵本、音楽、身体表現など様々な活動を取り入れている

各部屋の絵本コーナーには子どもの好きな絵本、季節に応じた絵本を用意し自由に楽しめるようにしている。保育士は朝の会やおやつの後に毎日読み聞かせをしたり、子どもの要求に応じて膝に抱き1対1または少人数で絵本が楽しめるようにしている。その他、ハンドベルや打楽器演奏、片栗粉や小麦粉などの感触遊び、木の実や廃材を使っての制作や描画、体操やダンスなどの身体表現など様々な遊びを取り入れている。保育者は教え込むのではなく、一人ひとりの子どもの表現を認め子どもが自分のイメージを膨らませ表現する楽しさを大切にしている。

4 評価項目4

日常の教育・保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点（○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当

評価項目4の講評

子ども主体の行事について職員が共通認識を持って取り組んでいる

日々子どもが興味を持って楽しんでいる遊びの延長線上に行事があること、行事がゴールではないこと、保育士主導ではなく子どもが自ら「やりたい」と取り組み「楽しかった」と思えることが一番大切であることを職員間で共通認識を持って行事に取り組んでいる。夏祭りや運動会は従来の内容やプログラムにこだわらず、日頃の遊びの中で子どもが夢中になっている遊びや、子どもの意見を取り入れた内容となった。子ども主体の行事はその後も年齢に関わらず遊びが広がり継続して楽しむ姿が見られている。

子どもたちが共通の目的を持ち共に考え、協働し達成感を味わえるようにしている

夏祭りや運動会をどのような内容でおこないたいか、そのための準備に必要なことはなにか、子どもたちの意見や考えを4、5歳児の話し合いの場としてサークルタイムを取り入れている。サークルタイムは共通の目的に向けて意見やアイディアを出し合う場である一方、意見の相違から生じる葛藤や我慢が必要となる場でもある。保育士は子どもたちの心情を読み取り非認知能力の育みに繋げている。サークルタイムの中で命名した「絵本の森」「太陽と雲のおうち」は子どもたちや職員から親しまれ、話し合いの達成感に繋がっている。

行事に取り組む子どもの姿を丁寧に伝え、子ども主体の行事についての理解に繋げている

運動会当日に至るまでの子どもの取り組みの経過をおたよりやプログラムに掲載する他、園長から子ども主体の運動会であること、当日までの子どもの姿や過程の中での育ちの大切さを伝えている。行事後は保護者から「想像以上に子どもたちが積極的に取り組み楽しむ姿を見ることができた」「子どもの意見を取り入れた内容は楽しむだけでなく充足感がある」などの意見を頂いた。行事に取り組む子どもの姿を丁寧に伝えることで子どもの成長の喜びを共有し、子ども主体の行事への理解に繋がっている。

5 評価項目5

在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点（○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

子どもが好きな遊びをじっくりと楽しみながら延長保育時間を過ごせるよう務めている

今年度は子どもが好きなコーナーで好きな遊びを十分に楽しめるように、遊びのコーナー設定に取り組んだ。延長保育時間は合同保育となり保育室を移動するが、各保育室には絵本やままごと、ブロック、お絵かき等のコーナーがあり、自由に楽しめるような環境が整っている。子どもたちは好きな遊びを選択しながら遊んだり、パネルシアターや手遊び等を保育者と楽しむ時間も設定されている。延長保育の内容は日誌に記録しているが、今後は遊びの内容や子どもの姿を具体的に記録していくことで延長保育の充実を図ることを期待したい。

子どもの心身の状態の引継ぎを確実に行い、ゆったりと安心して過ごせるよう努めている

延長保育時間は保育者がシフト制で勤務しているため、クラス担任は子どもの日中の心身の状態について申し送り書に記載し担当職員に確実に伝達できるようにしている。引継ぎを受けた延長保育担当者は子どもの状態に配慮した関わりに努め、ゆったりと安心して過ごせるようにしている。また、引継ぎ内容は保護者に伝達漏れのないよう努めている。

異年齢交流を通して考える力や行動力、優しさを育めるように援助している

異年齢交流では年上児への憧れからその姿に刺激を受け、意欲をもって挑戦したり、年上児は年下児と接しながら優しく教えてあげる等様々な関わりを通して考えながら行動する力や思いやりの心を育めるよう援助している。保育者は相手の気持ちに気づけるような言葉がけに努め、毎週の週会議では子どもたちの「ほっこりエピソード」を伝え合い心温まるシーンを共有し保護者に発信している。

6 評価項目6

子どもが食事を楽しめるよう配慮している

評点（○○○○）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. 園で提供する食事は、メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当

評価項目6の講評

行事食や世界の料理を通して食文化や生活習慣の違いなど伝え、食への関心を高めている

日本の食文化を紹介し毎月のお楽しみメニューに郷土料理を盛り込んだり、行事食の盛り付けを工夫したり、世界の料理紹介も14か国目となった。栄養士は各国の食文化の他にその国の挨拶や特徴的なこと等を写真の切り抜き等を使って紹介し、子どもたちの興味・関心は世界に広がっている。また、栄養素を逃がさず体に取り入れる調理法を取り入れ食材のうま味を活かし美味しい食事の提供に努めている。

毎日子どもと関わりながら、喫食状況や子どもの興味を把握し食育活動に反映させている

栄養士は食事の時間毎日各クラスを巡回し、一人ひとりの子どもとコミュニケーションをとりながら、子どもの言葉に耳を傾け興味・関心、喫食状況を把握して、栽培やクッキング体験など様々な食育活動に活かしている。子どもの食事の様子が見たいという保護者のニーズにも応え、毎日全員の写真を配信して家庭と連携して食育を推進できるよう努めている。このような取り組みにより保護者アンケートでは97%の肯定的回答が得られている。

野菜の栽培や収穫を通し食材への興味を高め食べることを楽しめるよう努めている

野菜は3、4、5歳児がプランターで栽培しているが、愛情をもって育てていけるように、どんな野菜を栽培したいか子どもの意見を聞いて選んでいる。収穫した野菜は子どもが給食室に運び給食の食材として使っている。給食職員が巡回すると「全部食べられたよ！」「おいしいねー」と子どもたちが伝えてくる。また、毎月実施しているクッキング体験では子どもから「〇〇作りたい！」と声が聞かれるようになり、食べることへの関心が伺える。0，1，2歳児も豆腐や蒸しかぼちゃ等いろいろな食材に触れ感触を楽しみながら興味を持てるよう工夫している。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう指導・援助している

評点（〇〇〇）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように指導・援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っている	○非該当

評価項目7の講評

看護師は登園時の受け入れや各クラスを巡回し子どもの健康管理に努めている

看護師は保育者と連携して受け入れをおこない、保護者からの情報の聞き取りや、検温、視診・触診により、子どもの心身の健康状態を把握して各クラスの担任に申し送りをしている。朝は各クラスを巡回し子どもが一日の園生活を安心して楽しく過ごせるよう健康管理をしてる。フリーで動ける時間は各クラスの子どもたちと触れ合いながら、子どもの健康観察をおこない体調の変化に素早く対応できるようにしている。また、危険個所をチェックして怪我の防止に努め子どもたちが安全に過ごせるようにしている。

子どもに分かりやすく病気や怪我の予防について指導し、健康への関心を高めている

子どもたちが病気や怪我の予防に関心をもち、自分のからだのことを考えていけるように取り組んでいる。正しい手の洗い方やマスクはなぜ付けるのか等の感染症予防に関連した話を分かりやすく伝えたり、歯磨きの仕方、鼻のかみ方、トイレトレーニング中の子どもにはお尻の拭き方など、季節や年齢に応じた健康指導を視聴覚教材などを用いておこない、子どもが興味を持って楽しみながら健康に過ごすための生活習慣を身に付けていけるように努めている。

看護師は衛生的な環境整備や保護者へ子どもの健康・安全に関する情報発信に努めている

看護師は保育者と協働し、室内の清掃や換気、遊具・玩具の消毒をおこない衛生的な環境維持に努めている。感染症が発生した場合は入り口にクラスや発生人数を掲示し知らせている。ほけんだよりは毎月発行し、子どもの感染症や健康で安全に過ごすための知識、防災に関すること等も保護者に発信し、緊急事態に備えていけるように努めている。3歳未満児の子どもの睡眠状態は入眠・目覚めの時間をアプリに入力し保護者に配信している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点（〇〇〇〇〇）

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、生活形態や子育ての考え方の違いなど、個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の教育・保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の子育てや就労状況等個々の事情に配慮した支援に努めている

延長保育の申請は急な場合は当日の15時まで受け付け、保育時間の変更に可能な限り対応し、保護者の就労状況に応じた支援に努めている。今回の保護者アンケートの当該項目では97%の肯定的回答が得られ、2年前の調査時より更に満足度の数値が高くなっている。保護者からは柔軟な対応に感謝の声が寄せられている。また、今年度はメインの出入り口を変更し、エレベーターを使用してベビーカーでも楽に送迎できるようにしたり、オムツのサブスクを昨年11月から取り入れ保護者の子育て支援に努めている。

園での様子を毎日ブログにアップし、子どもの成長を保護者と共有できるよう努めている

毎日各クラスの子どもたちの遊びや食事の様子等をブログにアップして保護者と共有できるように取り組んでいる。保護者からは「ブログで園の様子がわかり助かる、安心して任せらる、コロナ禍で制限がある中行事の様子も工夫して配信してくれる」等、感謝の声が寄せられ、園の活動内容に対する評価も94%と前回の調査よりかなり高い肯定的回答となっている。意見として、園内の様子が全く見えず工夫を要望する声もありコロナ禍の課題として検討が望まれる。

子どもと保護者が共に楽しみ感動を共有できる行事内容の工夫に努めている

今年度は運動会で親子競技を再開し、親子で綱引きや追いかけ玉入れを楽しんだ。コロナ禍の中で保護者同士が交流できる機会は少ないが保護者会や行事をオンラインで開催するなどの工夫により、今年度のアンケートでは「行事や参観・保護者会などの園が実施する活動に保護者が参加しやすい工夫がされている」の設問に対して87%の肯定的回答となっている。前回調査時より満足度が大幅にアップし取り組みの成果が伺える。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点（〇〇）

評価	標準項目	
◉あり　○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
◉あり　○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

地域資源を活用し子どもが多様な体験や交流の機会が持てるよう取り組んでいる

園長は地域に積極的に働きかけ、今年度は近隣不動尊と交流し、畑をお貸りして5歳児がサツマイモの苗植え体験をした。住職さんからサツマイモの栽培を広めた青木昆陽の話を聞いたり、苗の植え方を教えて頂き栽培への興味を高める活動となった。運動会後の「ホットケーキづくりを楽しもう！」のイベントでは、4歳児が近隣のスーパーマーケットに出かけ買い物体験を楽しんだ。今後の計画として国立博物館付属自然教育園で四季折々の自然に触れる体験活動を考えている。このように園では地域資源を活用し子どもたちの体験や交流の機会を広げている。

地域から愛される園を目指し、姉妹園との交流や地域の子育て支援に取り組んでいる

他法人の保育園や同法人の他園との交流を再開した。他園からのお客様を迎え、初めての友だちに対してやさしく丁寧に接する姿がみられ、体験を通して子どもが自分で考えて行動する学びの機会となった。また、地域の子育て家庭に呼びかけ、テラスで水遊びを楽しめるようにしたり、10月には見学体験会を企画するなど、地域に愛される保育園を目指して様々な取り組みをおこなっている。今後に向け、地域神社の祭礼への参加や卒園児の保育園ミニミニ体験なども考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	2-2-1	事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
タイトル①	分かりやすい中期計画・事業計画が設定されている	
内容①	中期計画（3か年計画）が分かりやすく設定され、中期計画のもとに今年度重点項目が保育計画と運営計画で設定され、今年度の目標と取り組みが計画されている。園の理念と目標が具体的で計画と一貫性があり園の意欲が感じられる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	日常の教育・保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル②	子ども主体の行事について職員が共通認識を持ち、環境づくりと関わりに取り組んでいる	
内容②	日々の遊びの延長線上に行事があることを職員間で共有し、行事の目的や当日がゴールではなくそこに至るまでの過程が大切であることを確認している。保育士は子どもの提案や発想を大切にし必要な環境と援助に努め、夏祭りでは店やゲームコーナーの内容を子どもたちの話し合いの場（サークルタイム）で決め、当日を楽しみにしながら準備する姿に繋がった。運動会では5歳児が日頃興味を持って取り組んでいる縄跳びや、4歳児がやりたいと提案したパラバルーンをプログラムに入れる等、職員の共通認識の下子ども主体の子どもがやりたい行事となっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう指導・援助している
タイトル③	日々の活動に散歩・総合遊具・体操等を十分に取り入れ心身の健康維持に努めている	
内容③	日々の日課に散歩や体操、テラスの総合遊具を使った活動を組み入れ、体を沢山使って遊びながら心身共に健康で過ごせるよう取り組んでいる。園の近隣には公園が沢山あり、天候の良い日は毎日散歩に出かけ、脚力を養ったり、自然や社会の事象に触れながら豊かな心情や思考力の芽生えを培っている。リニューアルした総合遊具では3歳未満児の子どもたちも保育者に援助され、楽しみながら体をたくさん動かして遊んでいる。遊具の端には小さな砂場や水道設備もあり、砂や水に触れる遊びを通して創造性や探求心を育む環境も大切にしている。	

《事業所名：Gakkenこどもえん》

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	ワクワクするコーナー設定や夢中になって遊びこむことで、子どもの主体性、意欲、興味・関心を育む保育に取り組んでいる
	内容	「遊びは学び、学びは遊び」やってみたいを大切に、子どもの主体性、意欲、興味・関心を育む保育に力を入れている。子どもが遊びを自分で選択し易いように、ままごと，玩具、絵本、お店やさん、人形などワクワクするコーナーを年齢別に工夫し、選択し遊びこむ様に見守り援助している。絵本の部屋を「絵本の森」、テラスを「太陽と雲のおうち」と子ども達が名付けたり、夏祭りでお店やさんの役割を話し合い、また、日常の運動のチャレンジの先に運動会を行うなど、子どもの主体性や意欲、社会性などを遊びで学ぶ保育に力を入れ工夫している。
2	タイトル	職員はお互いに助け合い、話し易い、相談し易い、チームワークの良い、働きやすい職場を構築している
	内容	働きやすい職場づくりに努め、仕事と家庭の両立できるように、休暇の取得や育児休暇の延長、介護休暇など取得しやすい様に配慮し、現場ではお互いさまで助け合う気持ちを大切にしている。個人面談を年2回行い、日頃でも相談に乗り、悩みを抱え込まずに話ができる様にしている。また、チームワークを大切に感謝の気持ちを声に出しあえるようにして、役割分担や行事の担当を決め、頑張ったことを言葉にして認め合い、子どもの成長や保護者の感謝の言葉などを添えて保育の遣り甲斐につながる様にして働きやすい職場づくりに努めている。
3	タイトル	子どもとの日々の会話を大切にし、子どもの思いや意見を食育活動に積極的に反映させながら、食への興味・関心、意欲を高めている
	内容	栄養士は食事の時間に毎日一人ひとりの子どもと会話し、喫食状況の把握や子どもの思いを聞き取り、楽しみながら食べることへの興味・関心を広げていけるよう取り組んでいる。クッキング体験や行事食の工夫の他、世界の料理の提供も14か国目になった。様々な国の文化や挨拶なども工夫して伝え、子どもたちの興味はますます高まっている。食事の様子は家庭へも配信し充実した食育活動に保護者の評価も高い。また、絵本の森コーナーを活用し、レストランのような雰囲気の中で食べるおやつの時間は子どもたちのお楽しみタイムとなっている。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	夢中になって遊びこむ姿と学びについて保育日誌を活用して振り返り、さらに遊びの発展と継続性に繋がるとなお良いでしょう
	内容	子どものやってみたいを大切にワクワク・ドキドキしながら自主的に遊びを選択し遊び込める環境設定と関わり、子ども主体の行事への取り組みを週ごとに話し合い現状や改善点を共有し園が目指す保育の実践に繋げている。日々の保育の振り返りは子どもが安心した環境の中で、夢中になって遊び込んでいるか安心度や夢中度を可視化する等、記録の視点を職員間で共有した保育日誌の記録に工夫が望まれる。また園が目指す保育実践に向け保育日誌を活用した事例研修に繋げ環境設定や関わりを振り返り、さらなる遊びの発展と継続に繋がる保育実践に期待します。
2	タイトル	保護者アンケートの結果では大幅に満足度が向上している。今後さらに、個々の遊びと学びの様子を日々保護者と共有出来ると良いでしょう
	内容	保護者アンケートの結果では総合満足が91％で各設問も70％以上「はい」肯定的な回答が83％であり、前回の調査より大幅に満足度が向上している。自由発言にも「遊びや日常習慣を教えてくれ子どもの成長を感じる」「外遊びや体操、食育が充実した」「保育内容はいろいろ考えられている」など満足発言が多い。子どもの主体性や意欲を育む「遊びは学び」の取り組み努力が認められた結果と思われる。日々の情報発信は新型コロナ感染対策や送迎場所の変更等により少し制限があったが、個別の遊びと学びの様子を一層共有出来るように工夫を期待します。
3	タイトル	職員一人ひとりへの成長・長所等のフィードバックを工夫し、一層充実感、成長感、信頼感の高い遣り甲斐のある職場作りを期待します
	内容	自己評価チェックシート等で自己評価し、期待役割面談で個別育成を図り、階層別研修、専門研修、外部研修などに参加し、園長が日々話しかけ職員がやりたい保育を大切にし週会議等で情報共有し育成している。今後、保育実践の振り返りでクラス単位で遊び学びの日々実践を話し合い、同時に、全クラスで話し合い、保護者との情報共有と評価を確認することが成長に繋がりやすいと思われる。同時にチームでの助け合い感謝の声、長所、個性の尊重等フィードバックを工夫し、一層充実感、成長感、信頼感の高い遣り甲斐のある職場作りを期待します。